

つるがそねかみひさいずじんじゃ

# 鶴ヶ曾根上久伊豆神社のまつり

平成 12 年 3 月 28 日 八潮市指定民俗文化財（無形民俗文化財） 平成 9 年 3 月 18 日 埼玉県選択無形民俗文化財

●八潮市大字鶴ヶ曾根 1941 番地（鶴ヶ曾根上久伊豆神社）

鶴ヶ曾根の集落は古くから利根川（中川）の舟運及び渡河地として栄え、「つるかそね」の河関が置かれた所である。鶴ヶ曾根は上と下の二つのムラ組に分かれ、それぞれ鎮守に久伊豆神社が祀られている。この久伊豆神社の祭礼のうち「弓ぶち」と「蛇ねじり」は埼玉県東南部地方に特徴的な行事であり、その中でも古い形態を遺している。

（弓ぶち）毎年 1 月第 3 日曜日に行われる「オビシャ行事」で、県の選択無形民俗文化財。祭礼の準備は、3つの祭組である「大組」「中組」「小組」に分かれて、かつては各組ごとに「宿」と呼ばれる祭り年番の氏子宅で弓矢や的が作られていたが、現在は神社境内において合同で行なっている。出来上がった弓矢は、神饌とともに神前に供

え、祭式が行われる。年番が交代する「宿送り」の終了後、氏子全員で鬼の絵や字を墨書した的を射て、五穀豊穡を祈願する。その後各組の宿において饗応が行われたが、現在は神社協の公民館にて合同で行っている。

（蛇ねじり）毎年 4 月 20 日に行われる「辻切り」行事。神社境内に氏子達が藁を運び、イチョウの木に縄を縛って藁蛇を編む。できた蛇にお神酒を飲ませた後、八條・鶴ヶ曾根境の下妻道上の中川堤に祀って、ムラに悪霊や悪疫の入り込むのを防ぐ。この日必ずゴモクムスビ（五目むすび）を作るといふ。この他指定はされていないが、元旦祭や初午、お日待ちなどの祭がある。



## ◎公開の有無

弓ぶち：1月第3日曜日

（令和2年より、日程が変更になりました）

蛇ねじり：4月20日

## ◎交通案内

- ・八潮市コミュニティバス北ルート「八潮高校入口」下車徒歩4分



本図は電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成したものです。